

共創や対話が大事だと聞くけれど、形だけの対話、気の乗らない会議、  
体裁だけの共創になっていることにふと疑問を持つことはないですか？

個も組織も共に "well-being" な空間・時間・仲間をつくる方法を  
「問い」にフォーカスして一緒に探してみましよう

共創ゼミナール  
彦根

# 共創のための 適切な問いとは？

## + 問うためのトレーニング



共創哲学を探究する哲学者  
梶谷真司さん

東京大学大学院 総合文化研究科教授（共生のための国際哲学研究センター（UTCP）センター長）。日本各地からのラブコールに応え、学校や企業、地域コミュニティなどで「共に考える場」を作る活動を行っている。2024年3月彦根市男女共同参画フォーラムでの講演以来、彦根は二度目。著書に「考えるとはどういうことか 0歳から100歳までの哲学入門」、「書くとはどういうことか」、「問うとはどういうことか～人間的に生きるための思考のレッスン」がある。

対象

対話を通じて組織やチームを活性化させたい人  
個と組織の現状に課題を感じている人  
チームリーダー、ファシリテーター  
対話の場づくりや哲学対話に興味がある人

参加  
無料

# 2025年 1月 19日 [日]

10:30 - 12:30 受付開始 10:00 定員50名

会場 dew spot -ものづくりラボ-  
彦根市芹川町528（大洋産業株式会社内）

申込フォームから  
事前に申込ください



申込め切（1月10日）  
定員になり次第め切



JR彦根駅から徒歩14分  
近江鉄道ひこね芹川駅から徒歩3分  
駐車場有

主催 滋賀大学地域連携教育推進センター

問合せ TEL 0749-27-1348

協力 一社)滋賀県中小企業家同友会  
てへろろ社会科実験室

Mail fukugan@biwkao.shiga-u.ac.jp

この事業は、「びわ湖東北部地域連携協議会」の取組の一環として行っています。